

東日本大震災 沖縄民医連 支援ニュース

第17号 2011年4月14日(木) 電話:098-833-3397

復興に向けた矢先・・・ 高嶺先生からの報告



高嶺です。震災にあった自宅を親子で片付けていた70台男性が突然倒れ心肺停止の状態で見送られてきた。蘇生を試みたが残念なことに死亡。頑張ろうと復興に向けていた矢先の4月の地震、建物の被害も更に酷くなっています。それでも避難所から皆さん片付けに向かっていきます。ボランティアの方が片付け手伝ってくれて有難いとタクシーの運転手は話していました。運転手も家が崩れたため友人宅に泊めてもらっていると話していました。

(ブログ「沖民救援隊」13日より)

ブログを通して支援隊を激励しよう

支援隊のみなさんにとって、職員からの「便り」がなよりの激励になります。現地から発せられている毎日のブログを見て、返事を出して、激励しましょう。

「沖民救援隊」で検索し、メッセージの下にある「コメント」をクリックすれば、書き込み欄が出ます。

第6陣支援隊(4/19～26)5人決まる

(敬称略)

- ①名嘉共道 (事務) 中協
- ②屋我平隆 (看護師) 中協
- ③高橋 結 (看護師) 沖協
- ④喜瀬和美 (介護士) OB
- ⑤喜瀬芳野 (PT) 沖協

4月19日出発の第6陣支援隊5人が決まりました。全日本民医連からの要請に基づき、今回は、医師以外の看護、介護、事務他の職種です。

なお、全日本民医連理事会の要請に応じて、現地「坂総合病院」で全国の支援者の全体の指揮をとる全日本「指揮団」の一員として、**名嘉共道**中協事務長がその任務に就くため、第6陣と同行します。

全国支援

支援者到達(13日現在):1949人(医師305、薬剤師114、看護師562、技術系379、事務他589)、本日の支援者数は(移動含む)184人。延べ数は9083人となりました! 支援募金到達:1億5400万円を超えました! ☆義捐金の使い途について、今月理事会で方針提起する予定です。